

# 4 計画区域、対象とする交通、計画期間、計画の位置づけ

## ■ 計画区域

本計画の対象となる区域は、笠置町、和束町、南山城村の2町1村からなる地域とします。

- 笠置町 全域
- 和束町 全域
- 南山城村 全域



## ■ 対象とする交通

- 鉄道：JR関西本線（加茂以東）
- バス：奈良交通和束木津線、相楽東部広域バス
- 地域内交通：笠置町循環バス、和束町グリーンスローモビリティ、南山城村内交通（月ヶ瀬ニュータウン線、村タク）
- 個別輸送：スクールバス、福祉輸送、タクシー

## ■ 計画期間

おおよそ10年後（令和13年度）の将来を見据えつつ、令和4年度から8年度までの5年間の計画とします。

## ■ 計画の位置づけ

本計画は、3町村、京都府の総合計画やまちづくりに関する計画と連携・整合を図り、これらのまちづくりの方向性を踏まえた計画として位置づけます。

3町村の総合計画・関連計画  
京都府の広域計画・関連計画

地域の将来像実現に向けて  
公共交通が果たすべき役割

JR関西本線(加茂以東)沿線  
地域公共交通計画

### <各計画の施策の方向性>

- 交流人口の拡大、新たな人の流れの創出
- 安心して出産・子育てのできる環境整備
- 安定した雇用の創出
- 支え合い助け合えるまちづくり
- 暮らしの安全・安心の確保
- 豊かな自然、多彩な文化の保全

# 5 計画実施のための推進体制

目標の実現、施策の継続的な実施に向けて、3町村の関係者及び区域の公共交通事業者、住民など、様々な関係者が連携し、総合的な取組として進めます。

### < JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会の役割 >

計画の評価、進捗管理は、協議会が主体となって実行します。

### < 各町村の役割 >

各町村の地域公共交通会議で事業の実施状況や評価等を協議し、協議事項等をJR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会へ共有します。

	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	次年度
協議会の年間スケジュール		事業実施												
				次年度事業検討										
							今年度事業評価・検証							
									事業見直し					

※最終年度（R8年度）のみ4月以降に次期計画改定に向けた作業を実施

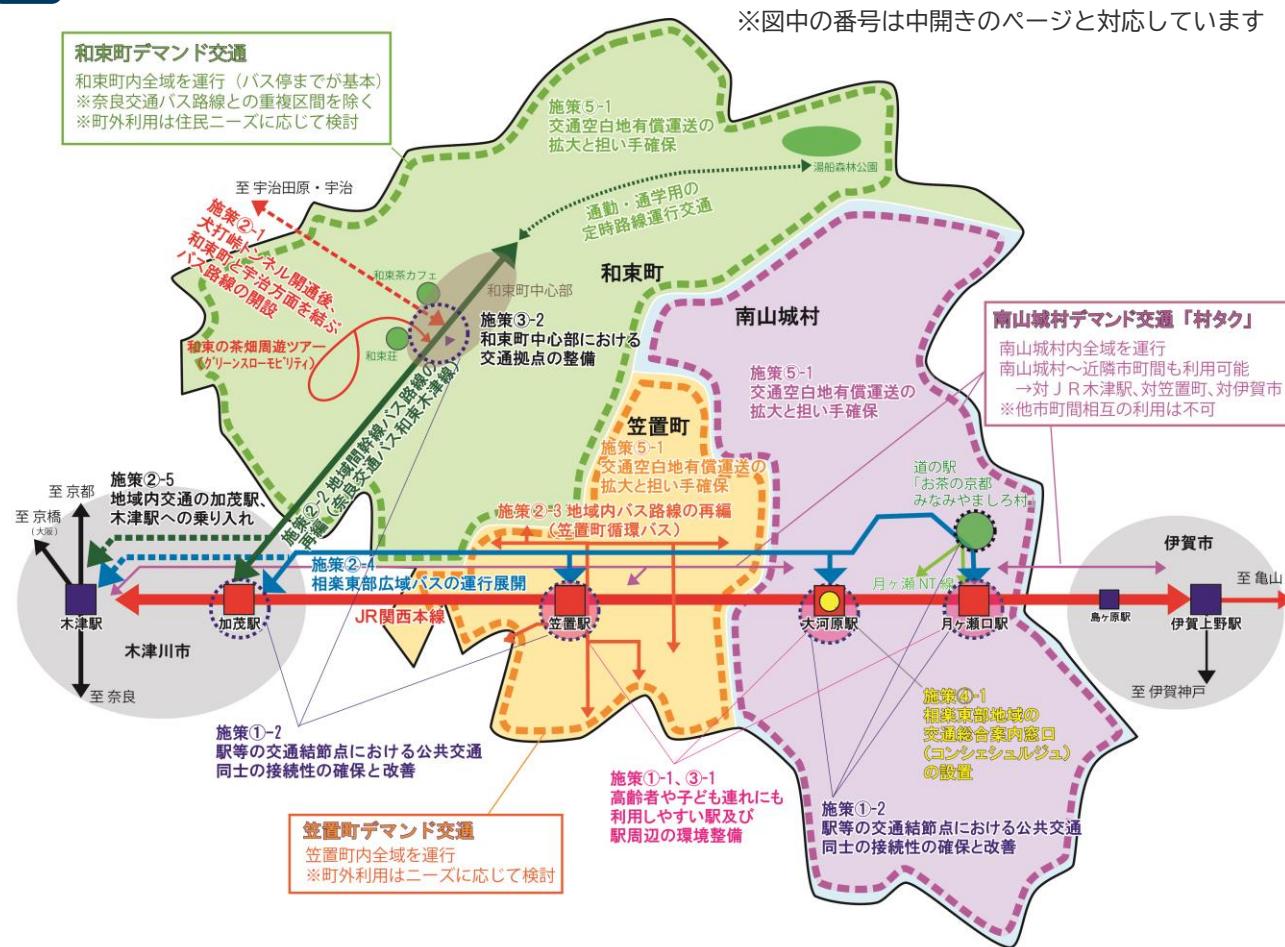
# 暮らしが楽しい、訪れて楽しいまちづくり「双楽」を支える「相楽東部『おでかけ』システム」の実現

## JR関西本線(加茂以東)沿線地域公共交通計画 概要版

### 1 はじめに

京都府と笠置町、和束町、南山城村は、平成29年3月に「JR関西本線(加茂以東)沿線地域公共交通網形成計画」を策定し、鉄道を軸とする地域公共交通の再構築に取り組んできました。しかし、相楽東部地域では、人口減少と高齢化が一層進んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響やJR大和路線の減便など公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。これからも地域の公共交通を守り、誰もが安心しておでかけできる環境を実現するためには、引き続き取り組みを進める必要があります。本計画は、これまでの網形成計画での施策の実施結果を踏まえ、まちづくり等と連携した公共交通の次期マスタープランとなるものです。

### 2 5年後に計画が達成された地域の姿



### 【計画区域全体で取り組む施策】

- 施策②-6 高齢者や高校生を対象とした利用促進
- 施策②-7 公共交通における新型コロナウイルス感染症対策のPR、高齢者の外出促進
- 施策④-2 来訪者にもわかりやすい経路検索サイトでの情報提供
- 施策④-3 MaaSの導入（観光型）
- 施策④-4 総合時刻表の作成・配布
- 施策⑤-1 交通空白地有償運送の拡大と担い手確保
- 施策⑤-2 スクールバスなど様々な主体との連携による移手段の確保

地域と公共交通の問題点

**都市構造や人口等**

- 人口が急速に減少しており、特に年少・生産年齢人口の減少が著しい
- 地域内に総合病院や商業施設、高校がなく、地域外の施設を利用
- 高齢化率が50%程度と高く、今後も上昇が見込まれる
- 自家用車保有率が高く、通勤・通学での自家用車利用が多い

**公共交通**

- 自家用車への依存が高い一方、自家用車の運転が困難な高齢者が増加
- 木津・京都方面への移動が不便
- 鉄道駅の利用環境、待合環境が悪い（陸橋、未改修のトイレなど）
- 人口減少に加え新型コロナウイルスの影響により公共交通利用者が減少、JR大和路線が減便されるなど、公共交通の維持・存続が困難に
- 地域内交通の情報発信不足、ウィズコロナにおいて訪日外国人客など来訪者の利用促進につながらない
- 観光客などの来訪者が利用できない住民限定のバスが存在

**地域からの声**

- 住民**
  - 自宅からバス停までが遠い
  - 都市に比べて運賃が高い
  - 自分でクルマを運転できなくなる将来はバスが必要
  - 公共交通がなくなると地域のイメージダウン
- 利用者**
  - 地域内から乗換なしで木津まで直行する公共交通がほしい
- 事業者等**
  - ドライバー不足・高齢化
  - コロナ禍で定期券収入減少
  - 利用促進策は地域との連携が必要

地域公共交通等の課題

**日常生活交通に関する課題**

- 地域で暮らしながら、大阪市、奈良市、京都市、伊賀市、関西文化学術研究都市方面へ通勤・通学できる公共交通サービスの整備
- 自家用車の運転が困難になる高齢者でも安心して移動できる交通手段の確保、改善
- 自家用車利用から公共交通利用への転換を促す取組、公共交通の利用を回復させる取組
- 駅を中心としたにぎわいの創出、高齢者や子ども連れにも日常的に利用してもらえ、使いやすい駅づくり
- JR大和路線減便後の利便性確保

**観光・交流交通に関する課題**

- 観光客の滞在時間を増やすため、宿泊施設や飲食店から地域内の観光地などへ公共交通で移動できる仕組みの構築、情報発信
- 移住・定住促進施策やワーケーションの取組などとの連携

**基本方針①**

① コロナ禍等による減便からの回復を目指し、JR関西本線沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者を増やす

**数値目標** 鉄道利用回数／バス利用回数／利用環境を高めた交通結節点の整備数／鉄道との接続率

- ①-1 高齢者や子ども連れにも利用しやすい駅及び駅周辺環境整備 南山城村、京都府、JR西日本
- ①-2 駅等の交通結節点における公共交通同士の接続性の確保と改善 本協議会、笠置町、和束町、南山城村、JR西日本、奈良交通

**基本方針②**

② 高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても、通学・通勤・買い物・通院ができる、「健幸」に暮らせる地域を目指す

**数値目標** 鉄道利用回数【再掲】／バス利用回数【再掲】／公的資金投入額／収支率／遠方の都市への通勤、高校への通学、総合病院への通院が公共交通で可能な地区数／公共交通空白地の地区数

- ②-1 (仮称)犬打峠トンネル開通後、新たに和束町と宇治方面を結ぶバス路線の開設 和束町等
- ②-2 地域間幹線バス路線の再編(奈良交通・和束木津線) 和束町、奈良交通等
- ②-3 地域内バス路線の再編(笠置町循環バス) 笠置町等
- ②-4 相楽東部広域バスの運行展開 本協議会
- ②-5 地域内交通の加茂駅、木津駅への乗入れ 本協議会、笠置町、和束町、南山城村、奈良交通等
- ②-6 高齢者や高校生を対象とした利用促進 笠置町、和束町、南山城村、JR西日本、奈良交通等
- ②-7 公共交通における新型コロナウイルス感染症対策のPR、高齢者の外出促進 笠置町、和束町、南山城村、JR西日本、奈良交通等

**基本方針③**

③ まちづくりと連携し、駅や拠点バス停での乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りたくなる拠点をつくることで、地域内外の交流を促進する

**数値目標** 鉄道利用回数【再掲】／バス利用回数【再掲】／利用環境を高めた交通結節点の整備数【再掲】／鉄道との接続率【再掲】

- ③-1 高齢者や子ども連れにも利用しやすい駅及び駅周辺環境整備【再掲】 南山城村、京都府、JR西日本
- ③-2 和束町中心部における交通拠点の整備 和束町、奈良交通

**基本方針④**

④ 情報発信の強化やMaaSの導入等によって、公共交通の分かりやすさ、使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする

**数値目標** 鉄道利用回数【再掲】／バス利用回数【再掲】／GTFIS-JPのバス路線に対する整備率

- ④-1 相楽東部地域の交通総合案内窓口(コンシェルジュ)の設置 笠置町、和束町、南山城村
- ④-2 来訪者にも分かりやすい経路検索サイトでの情報提供 本協議会、笠置町、和束町、南山城村、JR西日本、奈良交通
- ④-3 MaaS※の導入(観光型) 本協議会、笠置町、和束町、南山城村、京都府、JR西日本、奈良交通
- ④-4 総合時刻表の作成・配布 本協議会

**基本方針⑤**

⑤ 公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少社会においても公共交通を持続可能とする

**数値目標** 鉄道利用回数【再掲】／バス利用回数【再掲】／公共交通空白地の地区数【再掲】

- ⑤-1 交通空白地有償運送の拡大と担い手確保 笠置町、和束町、南山城村、相楽東部広域連合
- ⑤-2 スクールバスなど様々な主体との連携による移動手段の確保 笠置町、和束町、南山城村、相楽東部広域連合

※MaaS (Mobility as a Service) : 地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の移動サービスを組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス